

発行：岩手県精神保健福祉センター 岩手県自殺予防情報センター

このニュースレターは、県内に拡がりつつある自殺対策支援の輪を強化するため、地域の自殺対策のノウハウに関する情報を発信していきます。今回のテーマは「ボランティア・民間団体支援」です。

ニュース 今年度後半、さらなる取組強化を

警察庁の自殺統計に基づく10月の自殺者数

平成 26 年 11 月 11 日に内閣府から発表された「警察庁の自殺統計に基づく自殺者の推移等」によると、全国の平成 26 年 10 月の自殺者数 (2,215 人：速報値) は、対前年同月比 51 人 (約 2.4%) 増となり、平成 26 年 1～10 月の累計自殺者数 (21,446 人：速報値) は、対前年比 1,791 人 (約 7.7%) 減となりました。岩手県においては、**前年同月比で 5 人の増加**でした。

今年も残すところ 2 ヶ月となりました。各地域でのさらなる取組の強化が求められます。

	平成 25 年 10 月 (確定値)		平成 26 年 10 月 (速報値)		自殺者数対前年同月比	
	自殺者数(人)	自殺死亡率	自殺者数(人)	自殺死亡率	自殺者数(人)	増減率(%)
全国	2,164	1.7	2,215	1.7	51	2.4
岩手県	33	2.5	38	2.9	5	15.2

※平成 25 年は確定値、平成 26 年は速報値である。

こちらのページから参照できます。

↓

内閣府__自殺対策__
自殺の統計__月別の地域における自殺の基礎資料 (平成 26 年 10 月)

<http://www8.cao.go.jp/ji/satsutaisaku/toukei/pdf/saishin.pdf>

レポート ボランティア・民間団体の取組について

～第 10 回北東北自死予防フォーラムの報告～

9 月 27 日 (土)、28 日 (日) 久慈市・久慈グランドホテルにて、第 10 回北東北自死予防フォーラムが開催されました。青森県・秋田県・岩手県で自殺予防活動に関わるボランティア・民間団体等 233 名の皆さんが会し、お互いの活動の報告や、意見・情報の交換を行いました。

1 日目の始めは、自殺対策支援センターライフリンク代表の清水康之さんによる基調鼎談でした。今回、本会が 10 回目を迎えるにあたり、過去の取組について振り返り、今後、自殺対策をどのように進めていくか話し合いました。特に、北東北の中で岩手県は、東日本大震災において被害が大きく、被災地の復興の状況も踏まえながら、こころのケアをはじめとするメンタルヘルスの支援がどうあるべきか、また震災が風化されつつある現在、声をあげて、対策に取組んでいくことを確認しました。

次に、各分科会に分かれて意見交換が行われました。テーマは以下の 5 つです。

第一分科会：『被災地復興と自殺対策』 第二分科会：『自殺対策におけるネットワーク』

第三分科会：『被災地復興における民間の活動と連携の重要性』

第四分科会：『被災地復興とボランティア』 第五分科会：『日頃の活動の課題と活動の方向性』

今回は、被災体験や現地での支援活動をふまえた報告が多くなされました。分科会の一つをご紹介しますと、第二分科会『自殺対策におけるネットワーク』のテーマでは、山田町の保健師から、民間団体と連携しながらポピュレーションアプローチやハイリスク者支援を行っている同町の精神保健福祉活動について報告がされました。山田町は、県内でも震災の被害が大きかった地域ですが、行政・民間とどのように連携し復興に向かっているかについて話されました。連携を深める工夫について、当センターの黒澤所長からは、フォーマル、セミフォーマル、インフォーマルそれぞれのネットワークで、連携先と連携目的や課題を共有すること、事例検討会を実施すること、属するボランティア団体の周知などの助言がありました。



2日目は被災地視察ということで、参加者皆さんで宮古市田老へ向かいました。ここでは、防波堤に登り当時の状況について地元のボランティアガイドから話を聞いたり、屋内で当時の状況のDVDを見たりしました。ボランティアガイドが語った、「震災体験や『自分の命は自分で守ることの大切さ』を次世代に強く語り継いでいかなければならない」との言葉に、涙を流す参加者もいました。

以上、2日間の日程を終了し、フォーラムは閉会しました。

震災から3年半が経過した今、ボランティア・民間団体の活動は北東北、特に本県について言えば、メンタルヘルスの支援はこれからが正念場だといえます。地域での傾聴スキルの向上や行政とどの様に連携しながら活動していくかなど、取組む課題が多くあります。当センターとして、今後もボランティア・民間団体と課題を共有し、連携を深めながら活動を支援していきます。

岩手県のボランティア・民間団体の最近の動向

平成26年8月26日にボランティア・団体活動ネットワーク『さん・Sunねっと』総会が開催されました。その会において、県内で自殺予防に取組む民間団体のネットワークが一化され、14団体^{※)}が加入し、再スタートすることになりました。標記ネットワーク活動の目的は、研修会の開催や交流会の開催、また様々な自殺予防に係る情報の発信をすることで、自殺予防に取組む民間団体の活動の促進を図ることを目的としています。趣旨をご理解の上、積極的に加入をお願いします。今回のフォーラムも、このネットワークが中心となり、企画・運営を行いました。

インフォメーション

詳細はホームページをご覧ください。→

専門職向け

★多職種チーム活動とケアマネジメント研修②

～アセスメントと効果的な事例検討のあり方～

様々なニーズを持つケース支援をするためには多職種によるアセスメントとチームによる対応が重要です。本研修では、様々なニーズをもつケースに対し、チームでシステムティックに検討できる手法を身につける機会とします。ぜひご参加ください。

日時：平成26年11月26日(水) 9:30～16:00(受付9:00～)

会場：岩手県高校教育会館(盛岡市志家町11-13)

内容：講義「アセスメントと効果的な事例検討のあり方」

[講師]大正大学人間学部臨床心理学科 教授 近藤 直司 先生
個人ワーク、グループワーク等

★地域ケア検討会

当センターでは、関係機関から挙げられた、精神保健福祉に関する事例について、精神科医と臨床心理士の助言のもとに、事例検討会を定期的に行っています。会では、事例を通して相談対応者のアセスメントや相談技術の向上を図ることを目的としています。「対応や助言内容に不安や迷いを感じている」「地域で対応方法を共有したい」「継続した相談対応や支援を行っていて、処遇方法を検討したい」等の事例がありましたら、ぜひ提出をお願いします。

日時：第29回 11月21日(金) 14:00～16:00

第30回 12月12日(金) 14:00～16:00

会場：岩手県福祉総合相談センター 4階大会議室(盛岡市本町通3-19-1)

対象：精神保健福祉に関する相談対応に従事している方で、事例提出を希望する方、又は、事例検討への参加を希望する方

事例提出を希望する方は、「事例提出様式2」に記入し、**検討会一週間前迄**に、センター担当者宛、メールにて提出願います。

※)さん・Sunねっと加盟14団体

- ・傾聴ボランティア「やまびこ会」
- ・自殺予防活動地域サポーター「みんなの話」
- ・傾聴ボランティア「ひなたぼっこ」
- ・気仙地域傾聴ボランティア「こもればの会」
- ・傾聴ボランティア ころのもり
- ・釜石地域傾聴ボランティア「はなみずき」
- ・生きがい人形劇団「どっこいしょK」
- ・宮古地域傾聴ボランティア・支え愛
- ・特定非営利活動法人 サロンたぐり
- ・久慈地域傾聴ボランティア「ころろ」
- ・岩手自殺防止センター
- ・盛岡ハートネット
- ・NPO法人
いわて生活者サポートセンター
- ・傾聴ボランティア 大槌ひまわり

<http://www.pref.iwate.jp/seishinhoken/index.html>

お問合せ・お申し込み

岩手県精神保健福祉センター
担当：大森
☎019-629-9617

ホームページにて

- ・開催要領
 - ・申込書
- をダウンロードできます。

お問合せ・お申し込み

岩手県精神保健福祉センター
担当：篠木、佐々木
☎019-629-9617

ホームページにて

- ・開催要領・申込書
 - ・事例提出様式2
- をダウンロードできます。

Twitter で岩手県精神保健福祉センターの最新情報を発信しています。

http://twitter.com/iwate_seishinhk